

秋田内陸線に関する市民意識調査

調査結果報告書

令和4年12月

仙北市役所 総務部 企画政策課

調査概要

(1)調査対象地域

仙北市全域

(2)調査対象及び調査方法

満15歳(令和4年10月1日現在)以上の全ての市民の中から1500人の方々を無作為に抽出。

(3)調査方法

アンケート調査用紙を郵送またはインターネットにより配布・回収。

(4)調査期間

令和4年11月7日(月)～令和4年11月22日(火)

(5)回収結果

ア 有効回答数 831人

イ 有効回答率 55.4%

年度	抽出数	有効回答数
令和4年度	1,500人	831人

(6)その他

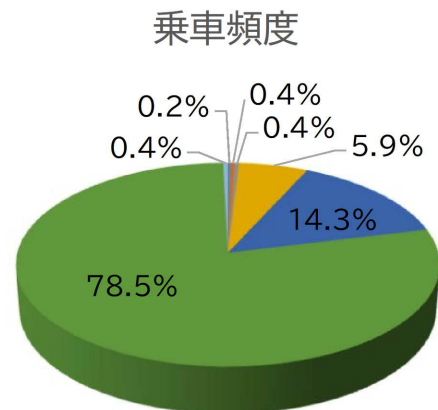
- ・この調査結果はこれからの内陸線への支援の在り方を協議するための資料であり、ただちに支援の打ち切りや廃線に直結するものではありません。
- ・結果の百分率は、小数点第2位を四捨五入しているため、比率の合計が100%と一致しない場合があります。
- ・二重回答や判読不能の回答などは、無回答に含めています。

問1 ここ一年での乗車頻度をおたずねします。

(一つ選んで回答)

【単位:%】

乗車頻度	R04
1 ほぼ毎日	0.2
2 週に2, 3日	0.4
3 月に数日	0.4
4 年に数日	5.9
5 ほとんど乗車しない	14.3
6 全く乗車しない	78.5
0 無回答	0.4
計	100.0



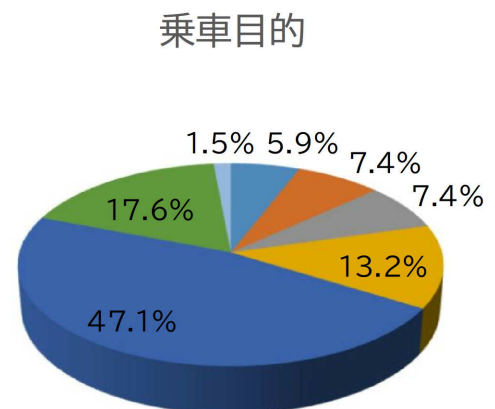
- 1 ほぼ毎日
- 2 週に2, 3日
- 3 月に数日
- 4 年に数日
- 5 ほとんど乗車しない
- 6 全く乗車しない
- 0 無回答

問2 乗車目的はどれになりますか。問1で「1」から「4」を選んだ方。

(いくつでも選んで回答)

【単位:%】

乗車目的	R04
1 通勤	5.9
2 通学	7.4
3 通院	7.4
4 買い物	13.2
5 観光	47.1
6 その他	17.6
0 無回答	1.5
計	100.0



- 1 通勤
- 2 通学
- 3 通院
- 4 買い物
- 5 観光
- 6 その他
- 0 無回答

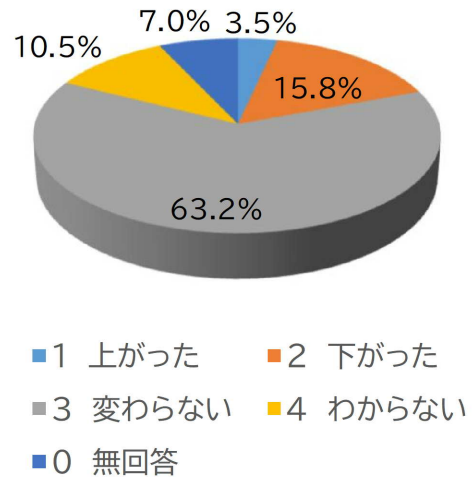
問3 乗車頻度の変化。問1で「1」から「4」を選んだ方。

(一つ選んで回答)

【単位:%】

乗車頻度の変化	R04
1 上がった	3.5
2 下がった	15.8
3 変わらない	63.2
4 わからない	10.5
0 無回答	7.0
計	100.0

乗車頻度の変化



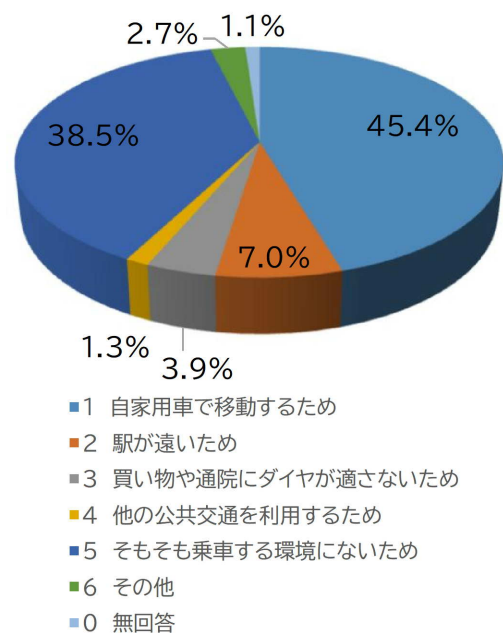
問4 乗車しない理由。問1で「5」「6」を選んだ方。

(いくつでも選んで回答)

【単位:%】

乗車しない理由	R04
1 自家用車で移動するため	45.4
2 駅が遠いため	7.0
3 買い物や通院にダイヤが適さないため	3.9
4 他の公共交通を利用するため	1.3
5 そもそも乗車する環境にないため	38.5
6 その他	2.7
0 無回答	1.1
計	100.0

乗車しない理由

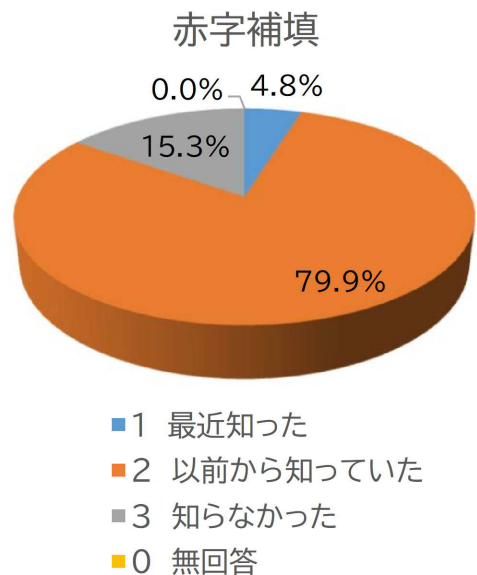


問5 仙北市が毎年度、多額の赤字補填をしていることを知っていましたか？

(一つ選んで回答)

【単位:%】

多額の赤字補填をしていること	R04
1 最近知った	4.8
2 以前から知っていた	79.9
3 知らなかった	15.3
0 無回答	0.0
計	100.0

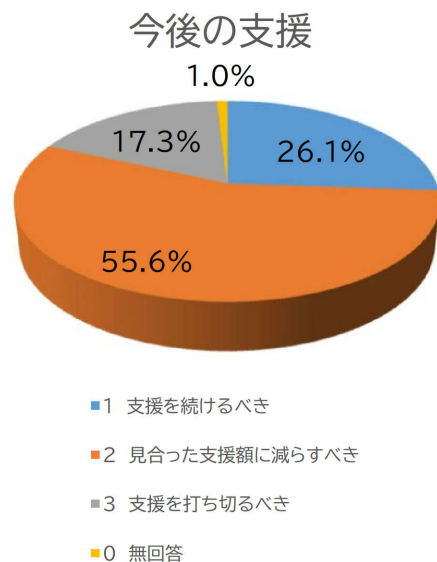


問6 今後の内陸線への支援について

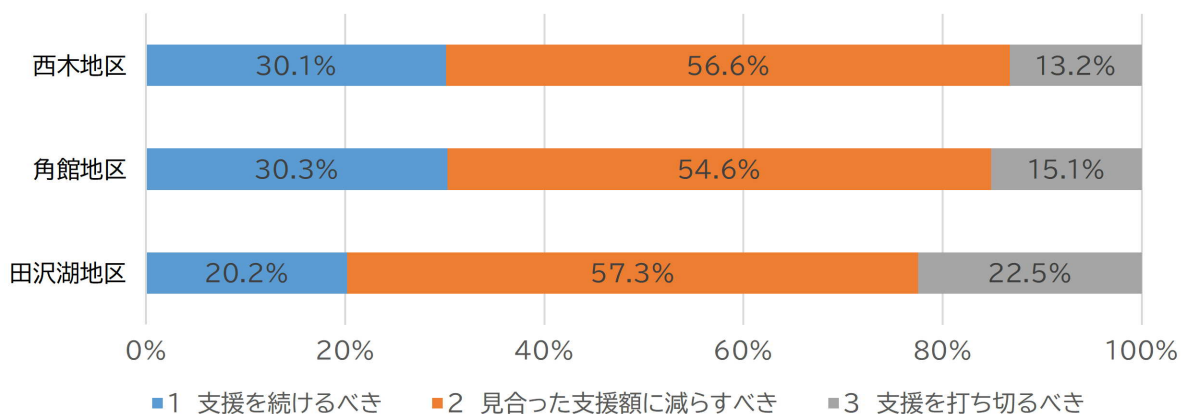
(一つ選んで回答)

【単位:%】

今後の支援について	R04
1 支援を続けるべき	26.1
2 見合った支援額に減らすべき	55.6
3 支援を打ち切るべき	17.3
0 無回答	1.0
計	100.0



今後の支援について(地区別)



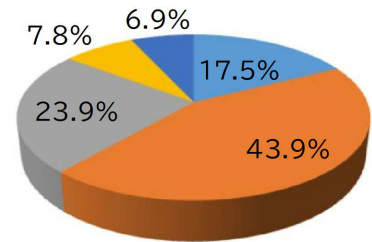
問7 市民一人当たりの内陸線支援額。問6で「1」「2」を選んだ方。

(一つ選んで回答)

【単位:%】

内陸線の支援額	R04
1 1,000円以下	17.5
2 1,001円～3,000円	43.9
3 3,001円～4,000円	23.9
4 4,000円以上	7.8
0 無回答	6.9
計	100.0

内陸線支援額



- 1 1,000円以下
- 2 1,001円～3,000円
- 3 3,001円～4,000円
- 4 4,000円以上
- 0 無回答

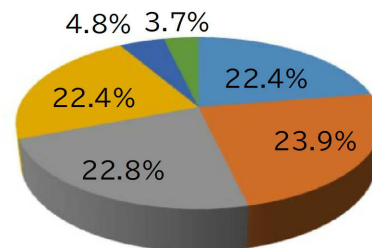
問8 支援を打ち切るべき理由。問6で「3」を選択した方。

(いくつでも選んで回答)

【単位:%】

支援を打ち切るべき理由	R04
1 他の施策に予算を充てるべきだから	22.4
2 費用対効果に欠けるから	23.9
3 他の公共交通で代用できるから	22.8
4 年々負担額が増加しているから	22.4
5 その他	4.8
0 無回答	3.7
計	100.0

支援を打ち切るべき理由



- 1 他の施策に予算を充てるべきだから
- 2 費用対効果に欠けるから
- 3 他の公共交通で代用できるから
- 4 年々負担額が増加しているから
- 5 その他
- 0 無回答

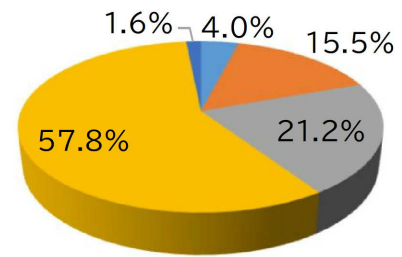
問9 仮に内陸線が一部又は全線廃線になった場合、生活などに支障がでますか。

(一つ選んで回答)

【単位:%】

生活などへの支障	R04
1 大きく支障がある	4.0
2 多少支障がある	15.5
3 それほど支障がない	21.2
4 全く支障がない	57.8
0 無回答	1.6
計	100.0

生活などへの支障



- 1 大きく支障がある
- 2 多少支障がある
- 3 それほど支障がない
- 4 全く支障がない
- 0 無回答

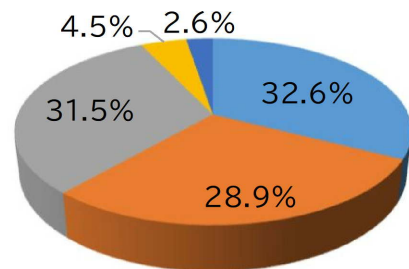
問10 仮に内陸線が一部又は全線廃線になった場合、代替公共交通として望むものはどれですか。

(いくつでも選んで回答)

【単位:%】

代替公共交通	R04
1 デマンドタクシーの拡充	32.6
2 地元による自家用有償交通の運行	28.9
3 高校生スクールバスの運行	31.5
4 その他	4.5
0 無回答	2.6
計	100.0

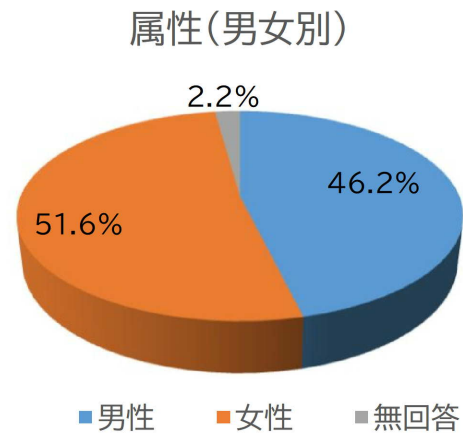
代替公共交通



- 1 デマンドタクシーの拡充
- 2 地元による自家用有償交通の運行
- 3 高校生スクールバスの運行
- 4 その他
- 0 無回答

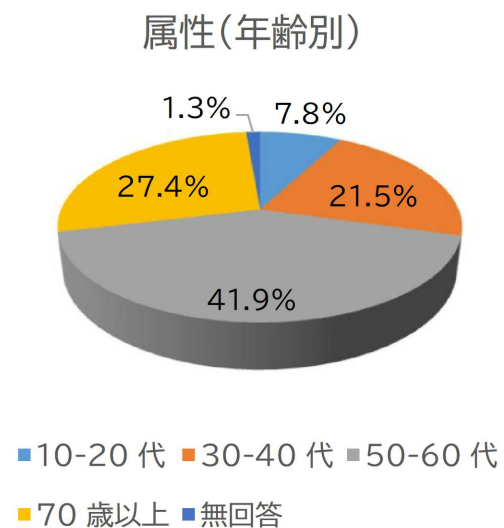
問11 あなたの性別は？

男女別	(人)	(%)
	R04	
1 男性	384	46.2
2 女性	429	51.6
0 無回答	18	2.2
計	831	100.0



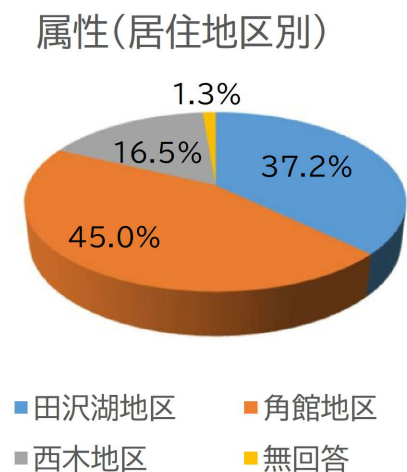
問12 あなたの年代は？

年齢別	(人)	(%)
	R04	
1 10-20 代	65	7.8
2 30-40 代	179	21.5
3 50-60 代	348	41.9
4 70 歳以上	228	27.4
0 無回答	11	1.3
計	831	100.0



問13 あなたの居住地区は？

居住地区別	(人)	(%)
	R04	
1 田沢湖地区	309	37.2
2 角館地区	374	45.0
3 西木地区	137	16.5
0 無回答	11	1.3
計	831	100.0



秋田内陸線に関する市民意識調査について

市民の皆様には日頃から市政全般にわたりご理解ご協力を賜り感謝申し上げます。
私は就任にあたり、仙北市を幸福度全国ナンバー１にするとお約束しました。

現在その実現のため、市全体の事業見直しを鋭意進めており、費用対効果を見極め、無駄をなくし、市民の皆様が真に必要なとする事業を進めることができるよう日々邁進しております。

ついでに、市政においての沿線二市・県による赤字補填が続く秋田内陸線の現状について皆様のお考えをお聞きしたく、この度、市民意識調査を行うこととしました。

秋田内陸線は沿線二市、県及び金融機関等により運営される第3セクターです。

これまで県内陸部を縦断する生活路線、観光路線として多方面の多大なる尽力により存続してまいりました。

しかしながら、人口減少に歯止めがかからず、コロナ禍からの回復も厳しいなか、少なくとも仙北市エリアにおいては市民利用や観光誘客効果が著しく低調であり、今後も多額の予算を投じて支援を続けることについて、待ったなしの議論を進めるべきと考えております。

市民の皆様の声をお聞きすることは、今後の議論を進める上で非常に重要であると考えています。ご多用のところ誠にお手数ですが回答にご協力をいただきますようお願い申し上げます。

令和4年11月

仙北市長 田 口 知 明

○このアンケート調査は、満15歳（令和4年10月1日現在）以上の全ての市民の中から1500人の方々を無作為に抽出し、郵送で調査票をお送りしています。

○ご本人がお答えできない場合は、ご本人の意思を反映してご家族の方がお答えください。回答に要する時間は10分程度です。

○記入がおわりましたら、同封の返信用封筒に入れて、令和4年11月22日（火）までに郵便ポストへ投函してください。なお切手は不要です。

○パソコンまたはスマートフォンでも回答いただけます。

以下のURLにアクセスするか右のQRコードを読み取り回答してください。

【接続URL】 https://s-kantan.jp/city-semboku-akita-u/offer/offerList_detail.action?tempSeq=3532

【QRコード】右のとおりです。



○調査結果は実施目的だけに利用します。それ以外には利用しません。

【問い合わせ先】仙北市役所総務部企画政策課

TEL 0187-43-1112 FAX 0187-43-1300

メールアドレス kikaku@city.semboku.akita.jp

【秋田内陸線の概要と支援の現状】

- 沿革 昭和45年11月 国鉄角館線（角館―松葉）開業
 昭和59年10月 第三セクター「秋田内陸縦貫鉄道株式会社」設立
 昭和61年11月 秋田内陸線南線（角館―松葉）・北線（鷹巣―比立内）開業
 平成元年 4月 秋田内陸線全線 開業
- 会社 本社 秋田県北秋田市阿仁銀山字下新町41番地1
 役員 代表取締役、取締役3名（うち1名は田口市長）、監査役2名
 株主 秋田県、北秋田市、仙北市、秋田銀行、北都銀行ほか
- 路線 総延長 鷹巣～角館間 94.2km
 駅 数 29駅（うち23は無人駅）

○輸送人員 開業当時と比較して約1/6に減少。

西木地区の高校生16名が通学定期を利用（令和4年度）

年度	平成元年度	平成10年度	平成20年度	令和元年度	令和3年度
輸送人員(人)	1,078,507	861,366	470,541	263,672	177,192

○輸送人員のうち、主な観光利用（仙北市関係）の現状。

年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
紙風船上げ(人)	約1,000	開催中止	開催中止
松葉駅から田沢湖畔(人)	197	88	78

○沿線（仙北市・北秋田市）人口 開業当時と比較して31,000人減少。

年度	平成元年度	令和4年度	令和22年度(2040年)
沿線人口(人)	約84,000	約54,000	約35,000

※令和22年度人口推計は国立社会保障・人口問題研究所より

○経常損益 経常損益額に対して、県50,000千円、北秋田市89,700千円、仙北市59,800千円、上小阿仁村500千円を運営費として毎年度支援。

年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
経常損益(千円)	-188,224	-184,158	-198,233

○仙北市の内陸線支援額及び公共交通予算全体額

運営費に加えて、田んぼアートなどの事業を行う秋田内陸地域公共交通連携協議会への負担金、駅前維持費、踏切改修費や観光列車改装費など、市公共交通予算全体額（デマンドタクシー・市民バス等）の約4割にあたる年間約80,000～90,000千円を毎年度支援。

年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度(予算)
内陸線支援額 (千円)	72,652	80,303	85,159	92,228
公共交通予算全体額 (千円)	206,704	198,476	212,080	234,190
内陸線支援額/公共交通予算全体額 (%)	35.1%	40.5%	40.2%	39.4%
各年度9月末現在市民人口 (人)	25,990	25,441	24,868	24,285
市民一人あたりの内陸線支援額 (円/人)	2,795	3,156	3,424	3,798

※内陸線支援額は県からの交付金20,000千円を除いた額

問1 ここ一年での乗車頻度をおたずねします。

あてはまる番号をひとつ選んで○をつけてください。

1 ほぼ毎日	2 週に2, 3日	3 月に数日
4 年に数日	5 ほとんど乗車しない	6 全く乗車しない

問2 問1で「1」から「4」を選んだ方におたずねします。乗車目的はどれにあたりま
すか。いくつでも選んで○をつけてください。

1 通勤	2 通学	3 通院
4 買い物	5 観光	6 その他 ()

問3 問1で「1」から「4」を選んだ方におたずねします。ここ数年で乗車頻度に変化
ありましたか。ひとつ選んで○をつけてください。

1 上がった	2 下がった
3 変わらない	4 わからない

問4 問1で「5」「6」を選んだ方におたずねします。乗車しない理由はどれになります
か。いくつでも選んで○をつけてください。

1 自家用車で移動する ため	2 駅が遠いため	3 買い物や通院にダイヤ が適さないため
4 他の公共交通を利用 するため	5 そもそも乗車する環 境にないため	6 その他 ()

問5 仙北市が毎年度、多額の赤字補填をしていることを知っていましたか。ひとつ選ん
で○をつけてください。

1 最近知った	2 以前から知っていた
3 知らなかった	

問6 今後の内陸線へ支援についておたずねします。ひとつ選んで○をつけてください。

1 支援を続けるべき、及び、社会的な必要性に配慮し支援を増やすべき
2 仙北市民の乗車実態や観光誘客効果に見合った支援額に減らすべき
3 支援を打ち切るべき

⇒裏面に続きます

問7 問6で「1」「2」を選んだ方におたずねします。市民一人当たりの内陸線支援額は、人口減少も相まって年々増加しています。令和4年度では市民一人あたり約3,798円ですが、どの程度の支援が適当と考えますか。ひとつ選んで○をつけてください。

1 1,000円以下	2 1,001円～3,000円
3 3,001円～4,000円	4 4,000円以上

問8 問6で「3」を選択した方におたずねします。支援を打ち切るべき理由はどれですか。いくつでも選んで○をつけてください。

1 他の施策に予算を充てるべきだから	2 費用対効果に欠けるから
3 他の公共交通で代用できるから	4 年々負担額が増加しているから
5 その他（ ）	

問9 仮に内陸線が一部又は全線廃線になった場合、生活などに支障がでますか。ひとつ選んで○をつけてください。

1 大きく支障がある	2 多少支障がある
3 それほど支障がない	4 全く支障がない

問10 仮に内陸線が一部又は全線廃線になった場合、代替公共交通として望むものはどれですか。いくつでも選んで○をつけてください。

1 デマンドタクシーの拡充	2 地元による自家用有償交通の運行 ※地元NPO等によるミニバン運行など
3 高校生スクールバスの運行	4 その他 ()

問11 あなたの性別は？ ※ご回答は任意です。

1 男性	2 女性
------	------

問12 あなたの年代は？

1 10～20代	2 30～40代
3 50～60代	4 70歳以上

問13 あなたの居住地区は？

1 田沢湖地区	2 角館地区	3 西木地区
---------	--------	--------

ご協力ありがとうございました。